

放課後子ども教室NEWS

福島県教育庁南会津教育事務所
総務社会教育課

「あさひだっ子クラブ」を訪問しました

11月19日(木)に旭田小学校を伺い、「あさひだっ子クラブ」を見せていただきました。

この日は『枯れ葉に色を付けよう』という活動でした。コーディネーターさんが事前に作成していた彩りきれいなお手本を参考に、子供たちも負けじときれいに色を染めていました。

子供たちが興味を持ってくれるようなプログラムを毎回考えているが、1年生～6年生すべてに興味も持ってもらうのは正直難しいとのこと。自主性を大事にされているということで、プログラムに興味のない子供には無理強いをせず、すべて子供たちに任せているとのことでした。

大桃校長先生からはスタッフさんたちとの連携を大事にし、お互いに協力をしながら子供たちを育てていきたいという思いを伺いました。

<コーディネーターの奈良部くみさんより>

○教室自慢

自主性と集中力が育つような活動をしているので、甘えんぼさんたちも少しずつですが自分で考えて行動が出来つつあります。活動も宿題を終わらせてからする子や家に帰ってから宿題をしたい子といろいろですが、指導員の先生方と話し合い反省しながら取り組んでいます。

○普段心がけていること

作った作品を飾る場所がなく、バスで帰る児童も多いので、その時間までに終わってすぐ持ち帰れるようなプログラムをなるべく組むようにしています。全学年対象ではないのですが、高学年もやりたいといえれば出来るように少しレベルアップしたものを準備するようにしています。

○ひとこと

興味をもって先生方と楽しそうに遊んでいる子供たちの姿を見ると「良かった。次は何がいいかな。」といろいろ考えすぎ、なかなかプログラムが決まらず準備など時間が足りません。でもそれがとても楽しい時間です。



まずは宿題に取り組みます



コーディネーターさんが作ったお手本



私もきれいに仕上げます

子供の自主性を大事にしながら、子供ファーストでプログラムを考え、一緒に楽しもうとするコーディネーターさんの思いが伝わってきました。活動中は他の指導員さんと役割を分担しながら、取り組まれていました。「先生、先生」と指導員さんたちににこやかに歩み寄ってくる子供たちの姿もたいへん印象的でした。